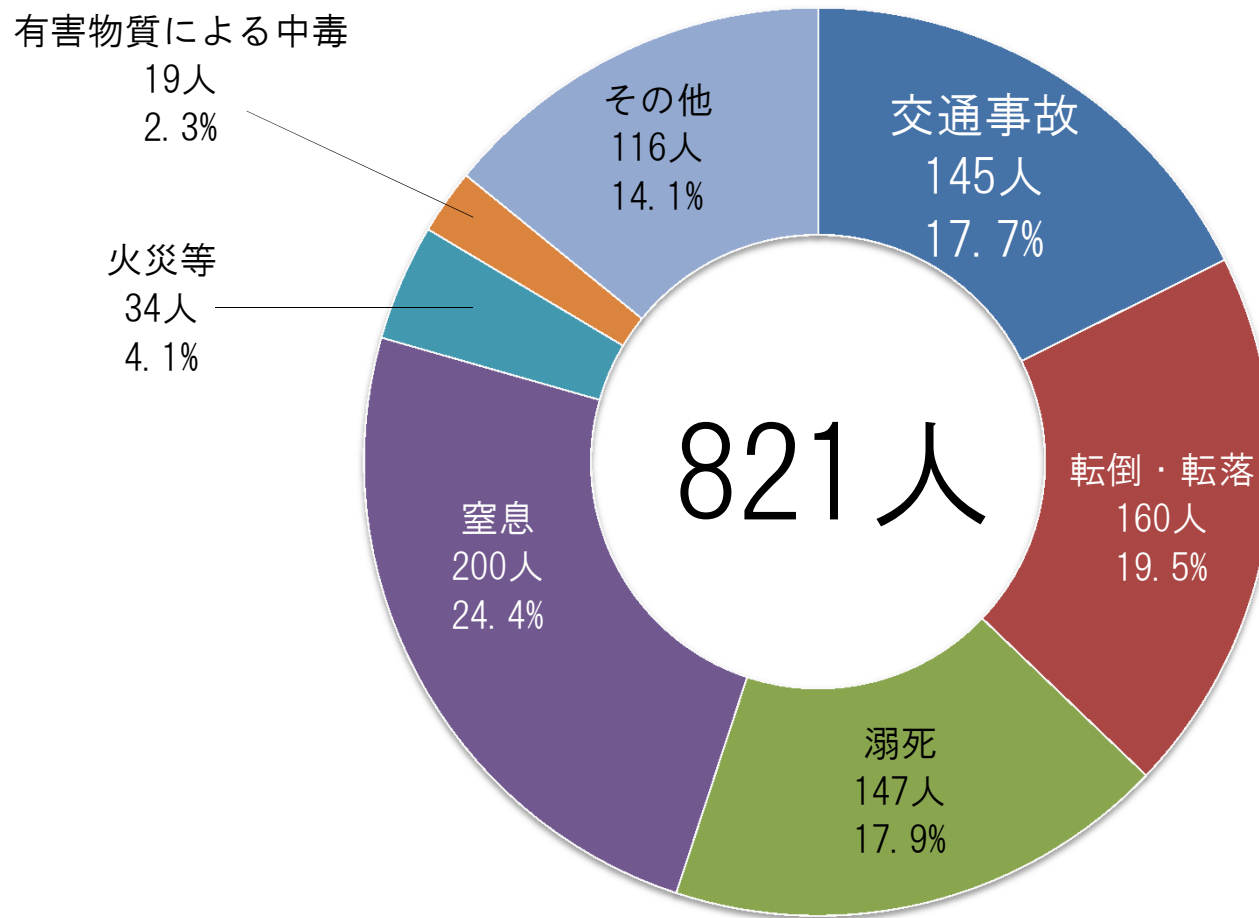


1 不慮の要因による死者の状況

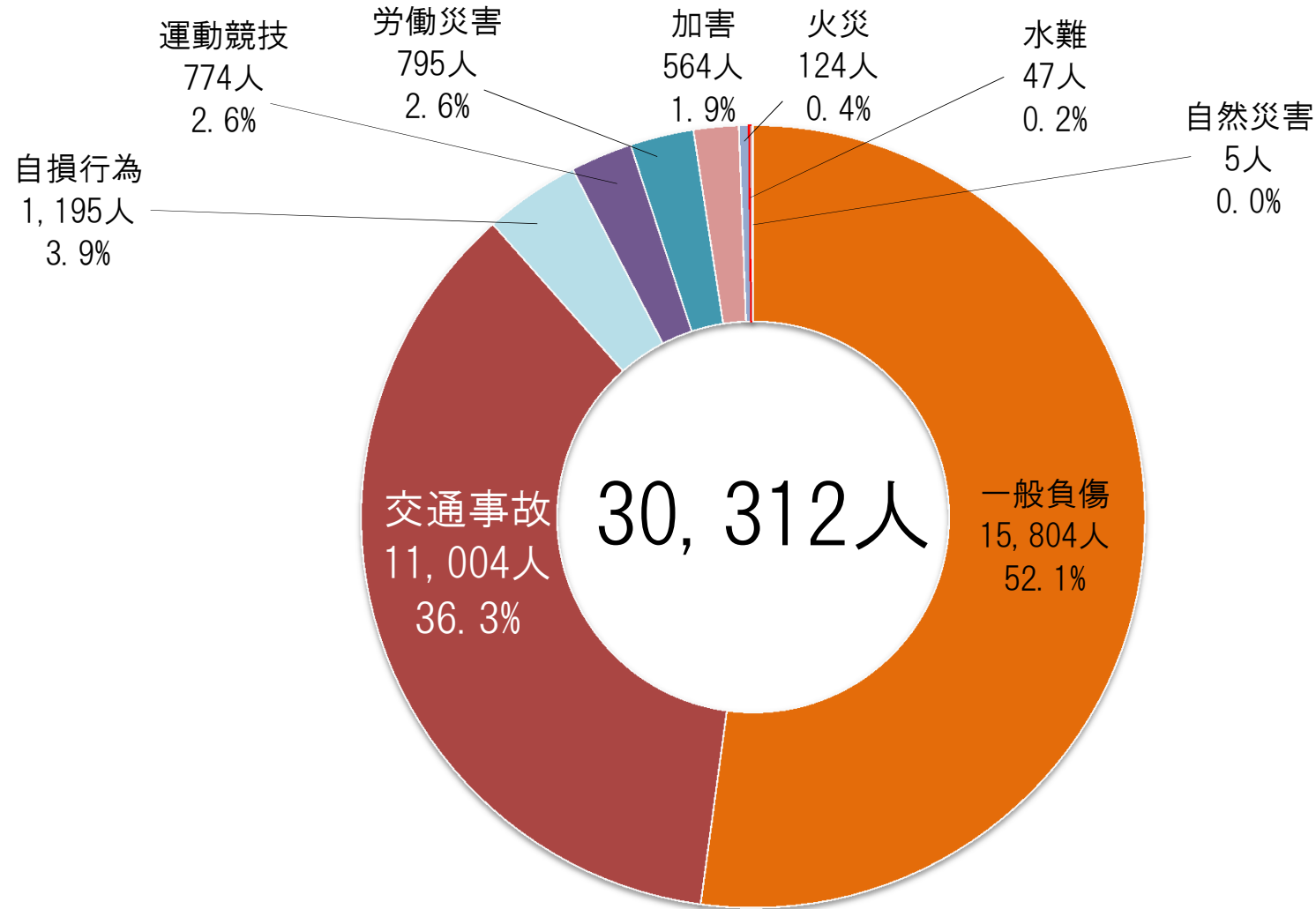
不慮の要因による死者のうち、約2割が交通事故で亡くなっている



【出典】かごしま市の保健と福祉(人口動態統計)(鹿児島市) 【データ】市、両性、全年齢、2011年～2015年合計

2 事故別救急搬送の状況

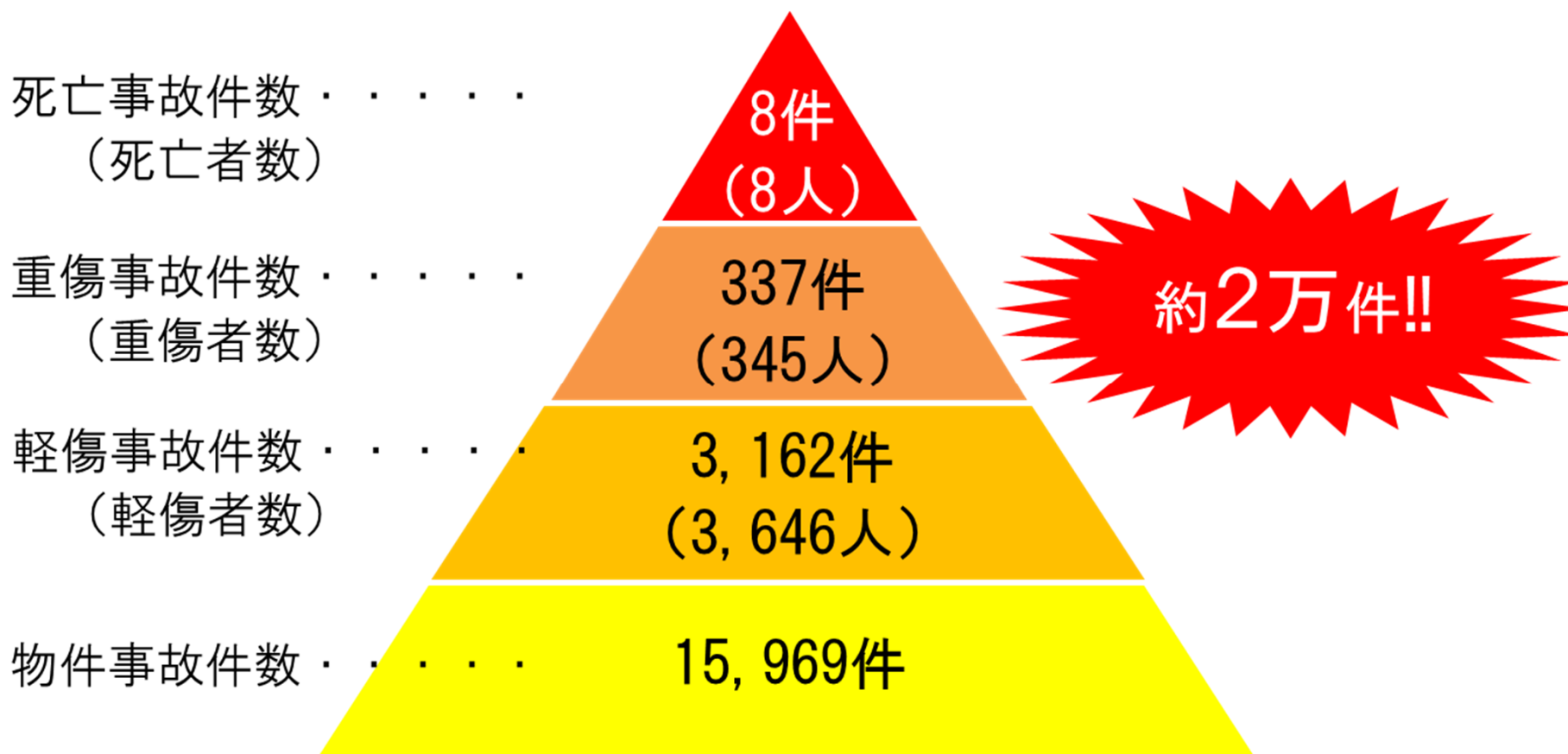
救急搬送者のうち、約4割が交通事故に起因している



【出典】消防年報(市消防局) 【データ】市、両性、全年齢、2011年～2015年合計 ※急病、その他(転院搬送等)を除く

3 交通事故発生件数（物損事故を含む）

年間約2万件の交通事故が発生しており、約4,000人が死傷している

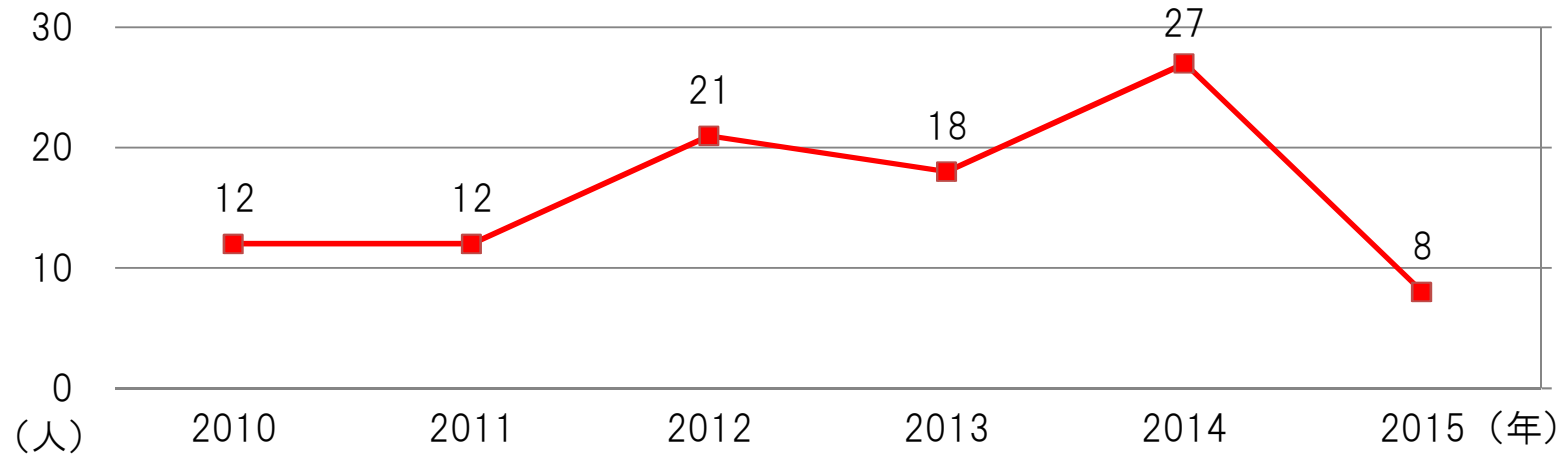


【出典】交通事故統計分析表（鹿児島県警察）【データ】市内三署（高速道路を除く）、両性、全年齢、2015年

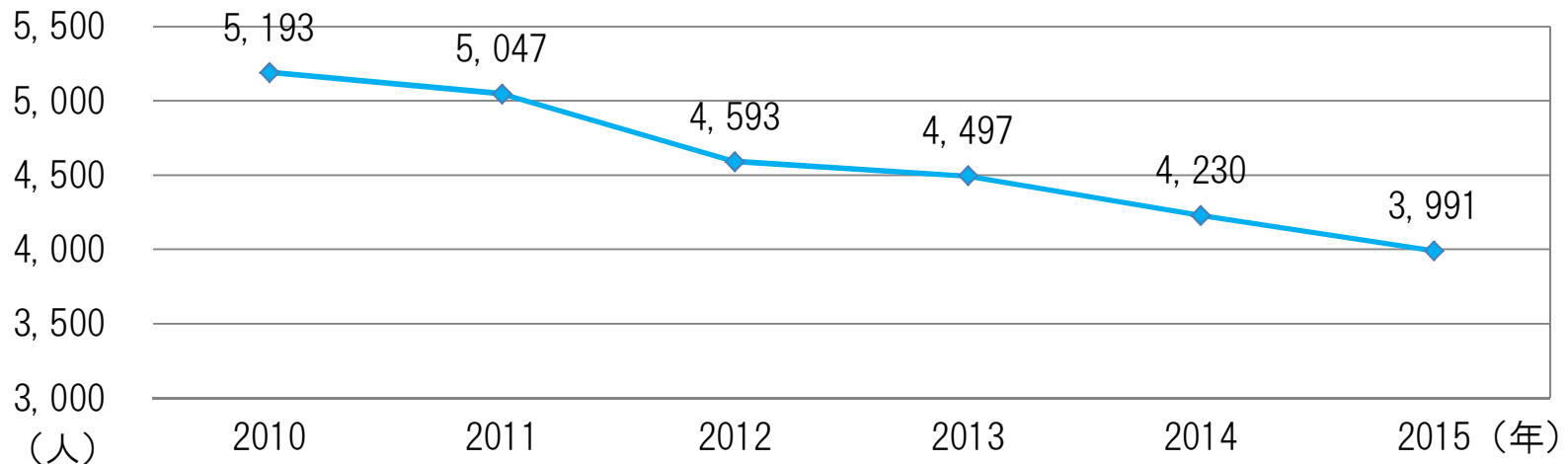
4 交通事故発生状況の推移

交通事故の負傷者は減少傾向にあるが、死者は増減を繰り返している

■ 交通事故死者の推移



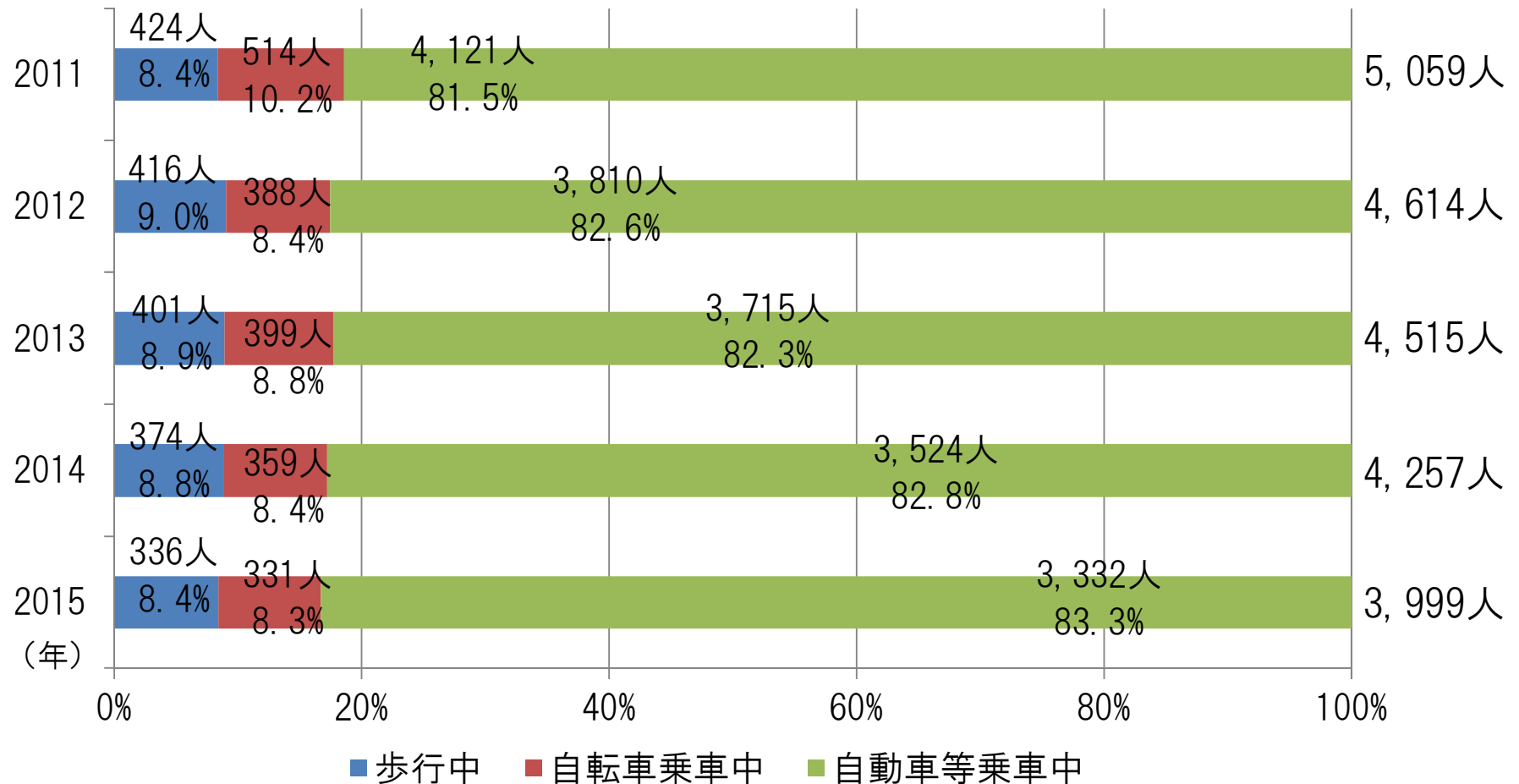
■ 交通事故負傷者の推移



【出典】交通事故統計分析表(鹿児島県警察) 【データ】市内三署(高速道路を除く)、両性、全年齢、2010年~2015年

5 交通事故死傷者の発生状況

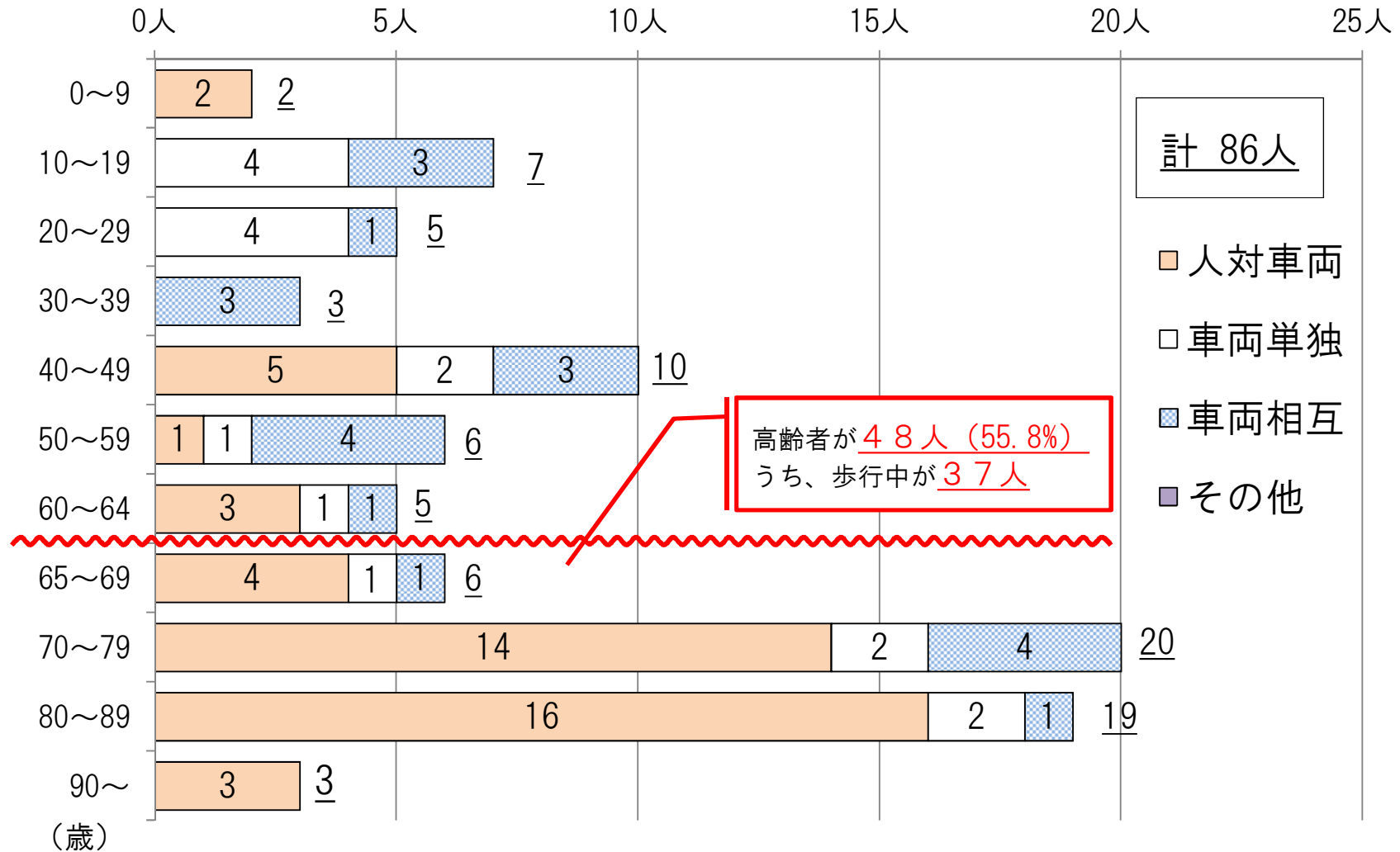
事故状態別では、自動車等乗車中が8割を占めている



【出典】交通事故統計分析表(鹿児島県警察) 【データ】市内三署(高速道路を除く)、両性、全年齢、2011年~2015年

6 交通事故による年齢層別死者の状況

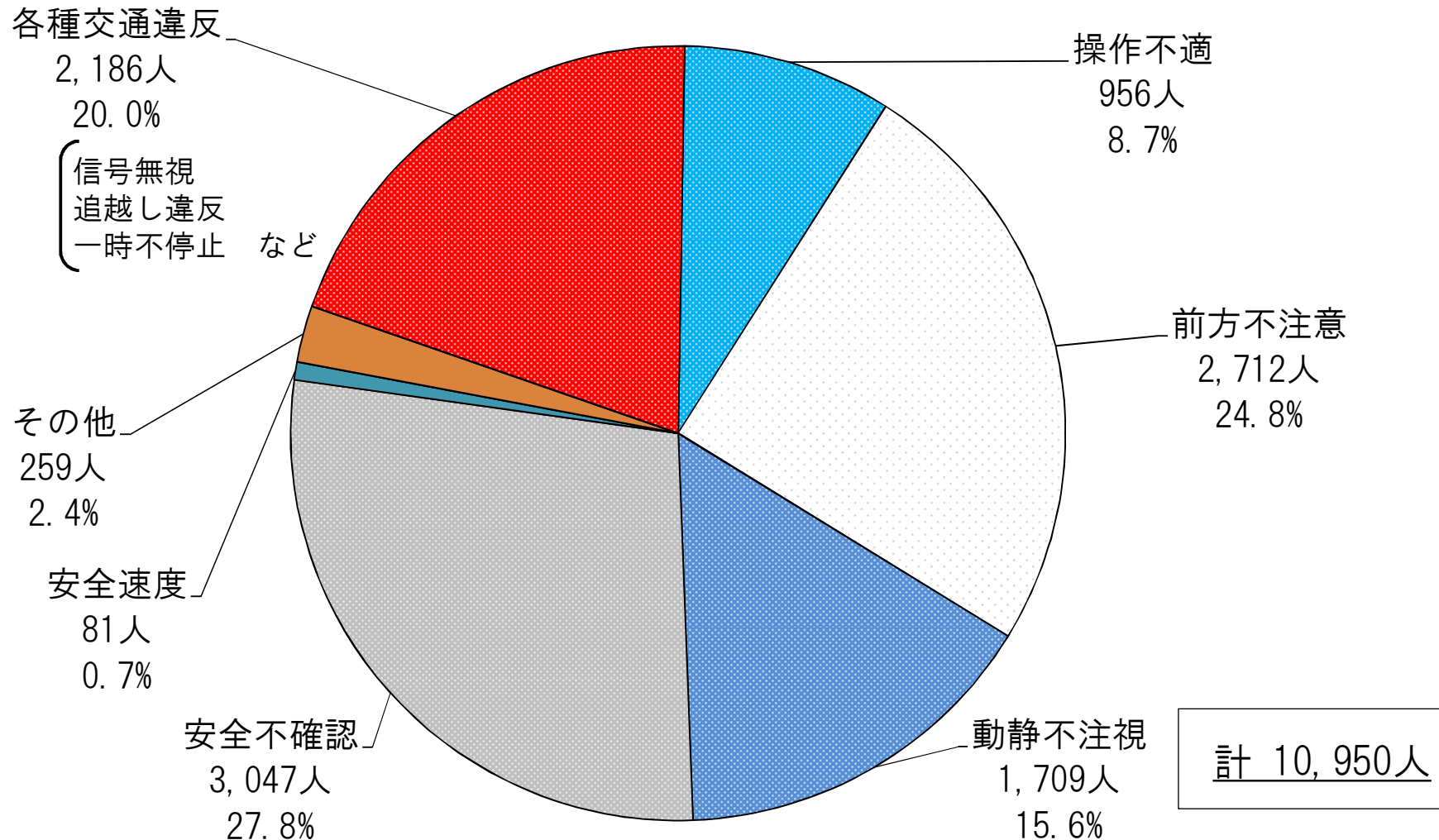
交通事故死者は、歩行中の高齢者が多くなっている



【出典】鹿児島県警察本部(交通企画課)調べ 【データ】市(高速道路を除く)、両性、全年齢、2011年~2015年合計

7 車両（軽車両を除く）運転者の事故原因

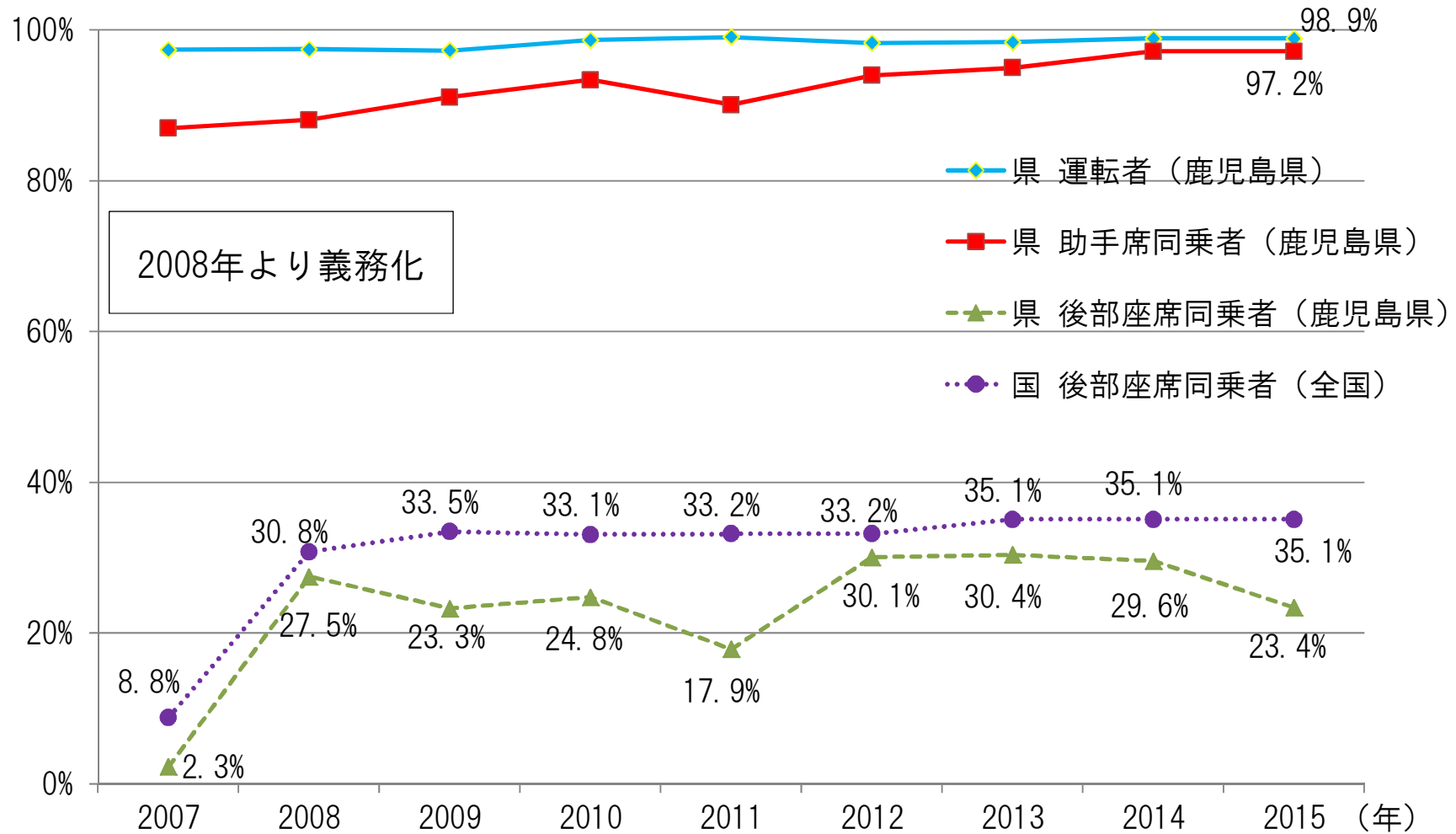
運転者のちょっとした不注意が、交通事故を引き起こしている



【出典】鹿児島県警察本部（交通企画課）調べ 【データ】市（高速道路を除く）、両性、全年齢、2013年～2015年合計
※車両（軽車両を除く）・路面電車に原因（第1当事者のみ）

8 シートベルト着用率の推移

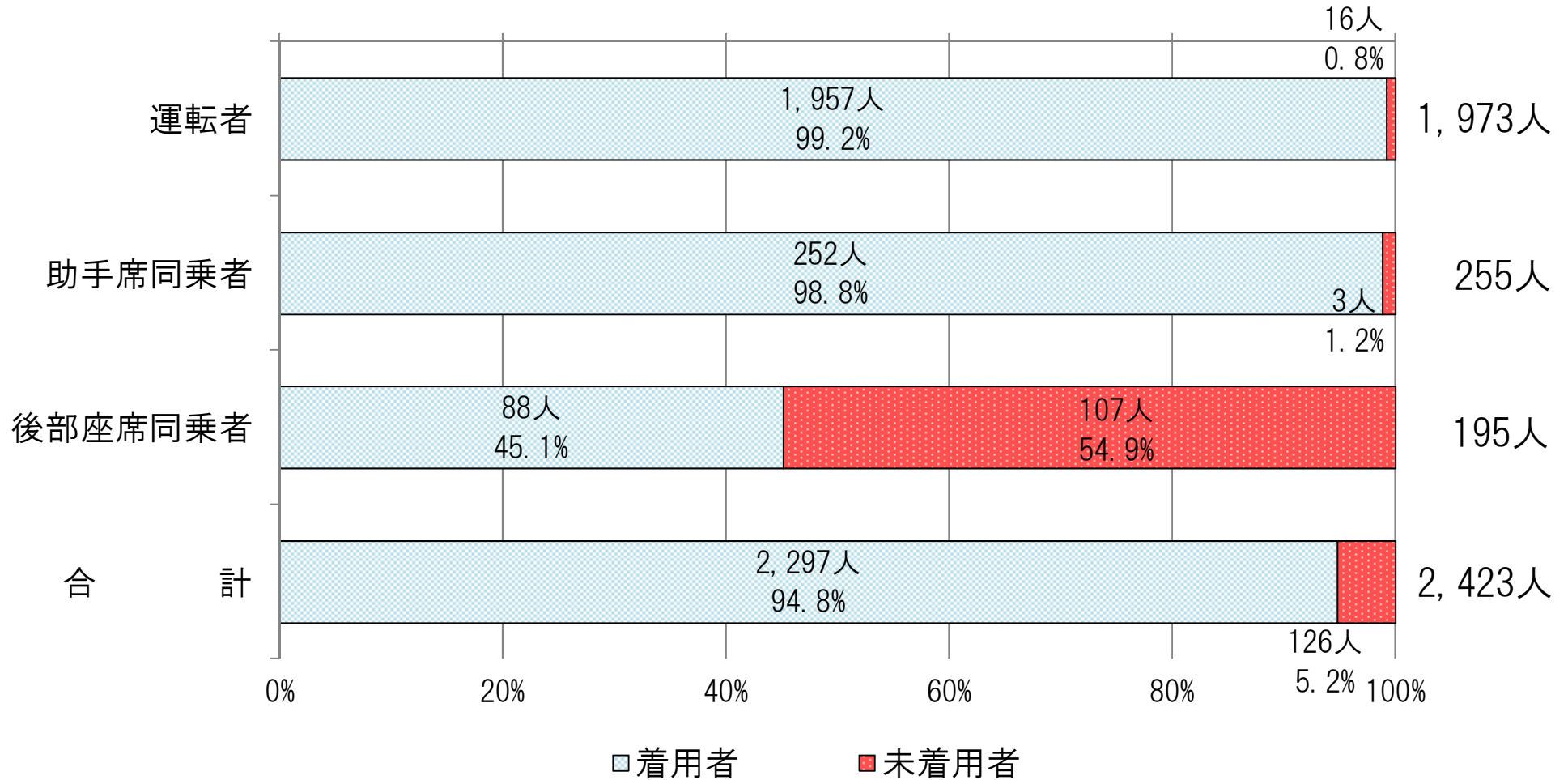
鹿児島県の後部座席シートベルト着用率は、全国に比べて低い水準である



【出典】シートベルトの着用状況全国調査(警察庁、日本自動車連盟)
 【データ】県・全国(一般道路のみ)、両性、全年齢、2007年～2015年

9 シートベルト未着用者による交通事故死傷者数

後部座席同乗者のうち、シートベルト未着用者の死傷率が非常に高くなっている

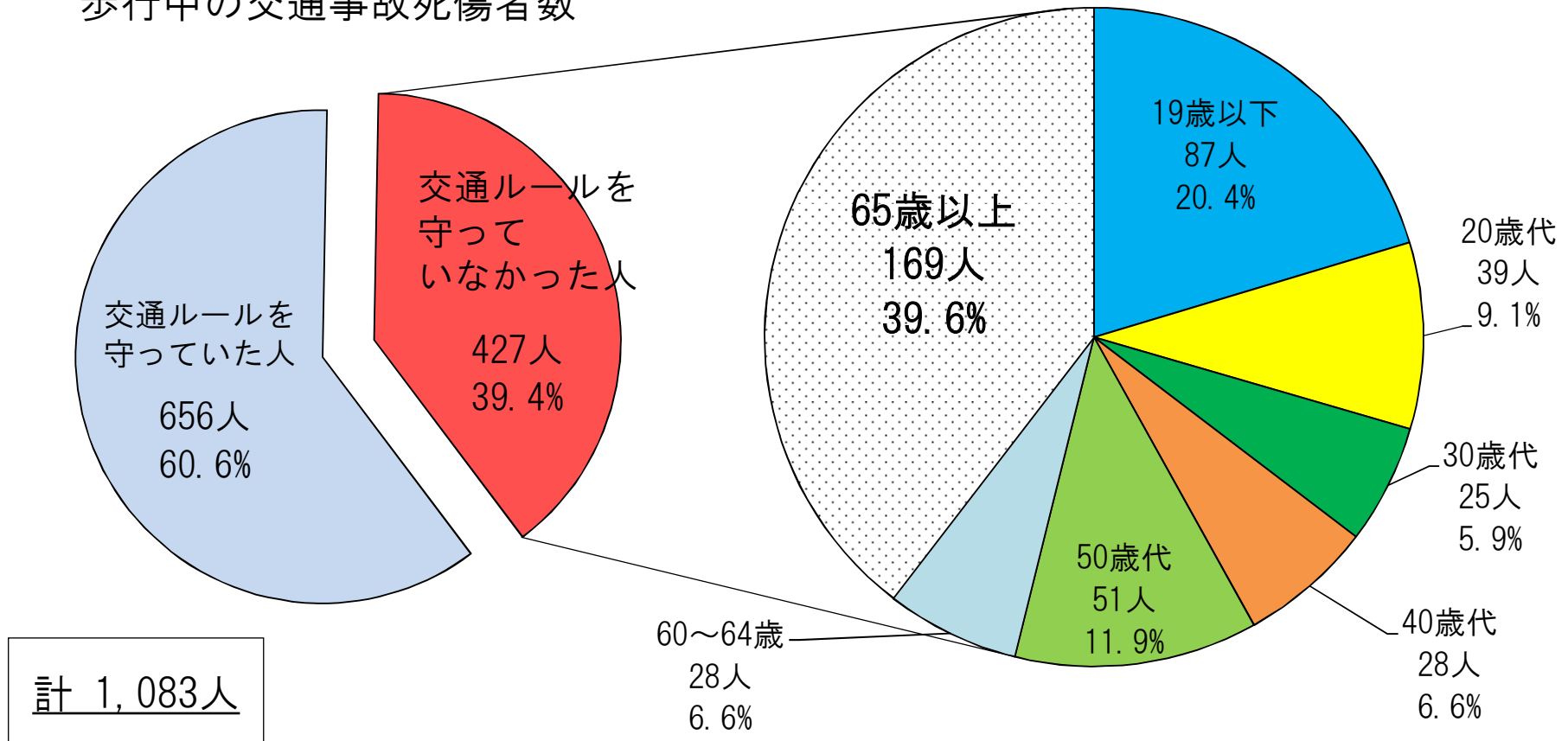


【出典】鹿児島県警察本部(交通企画課)調べ 【データ】市、両性、全年齢、2015年 ※第1、2当事者のみ、着用不明等除く

10 年層別の交通事故死傷者数

交通ルールを守らずに死傷した歩行者のうち、高齢者が約4割を占める

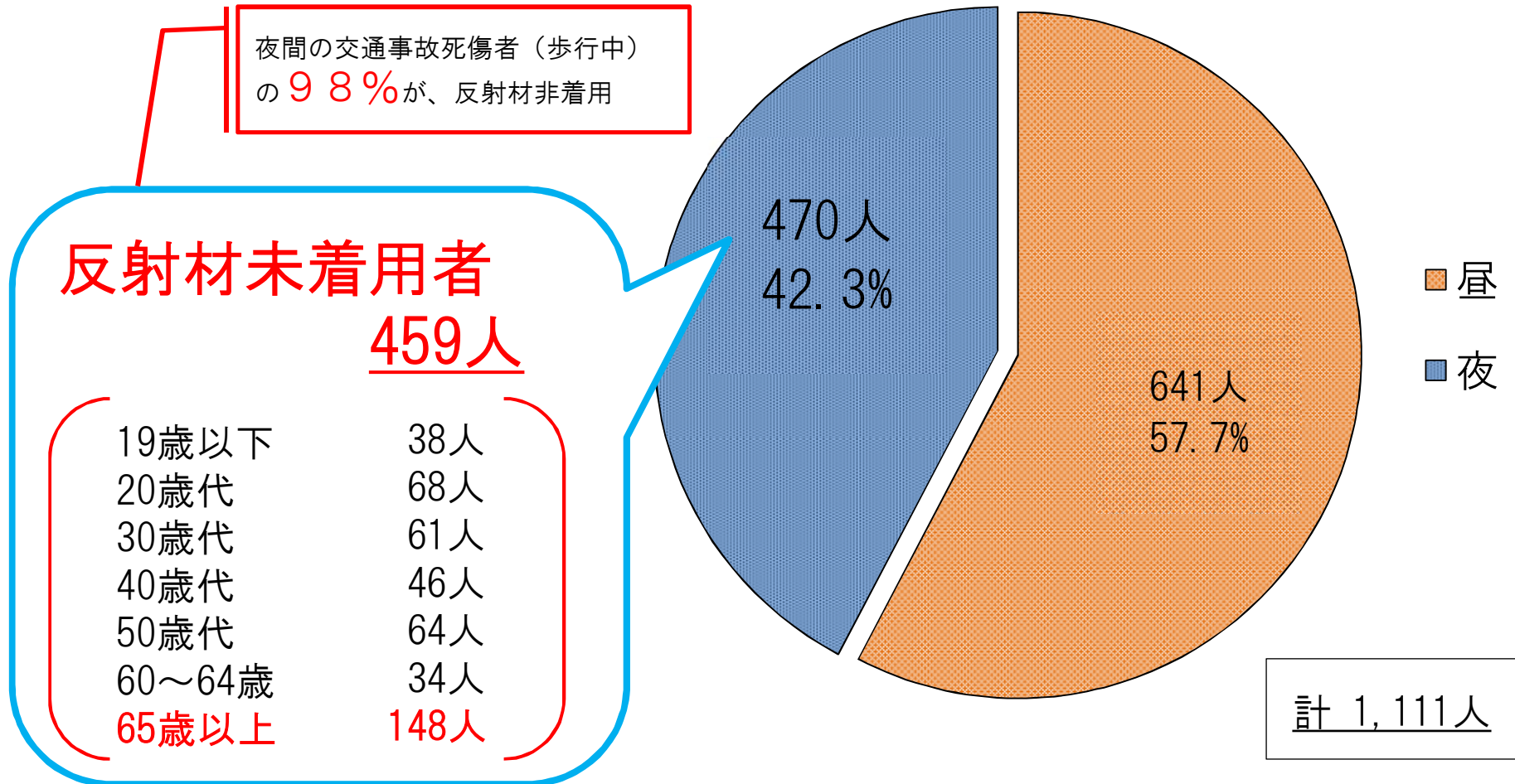
歩行中の交通事故死傷者数



【出典】鹿児島県警察本部(交通企画課)調べ 【データ】市、両性、全年齢、2013年~2015年合計 ※第1、2当事者のみ

1.1 歩行中の交通事故死傷者数と夜光反射材着用率

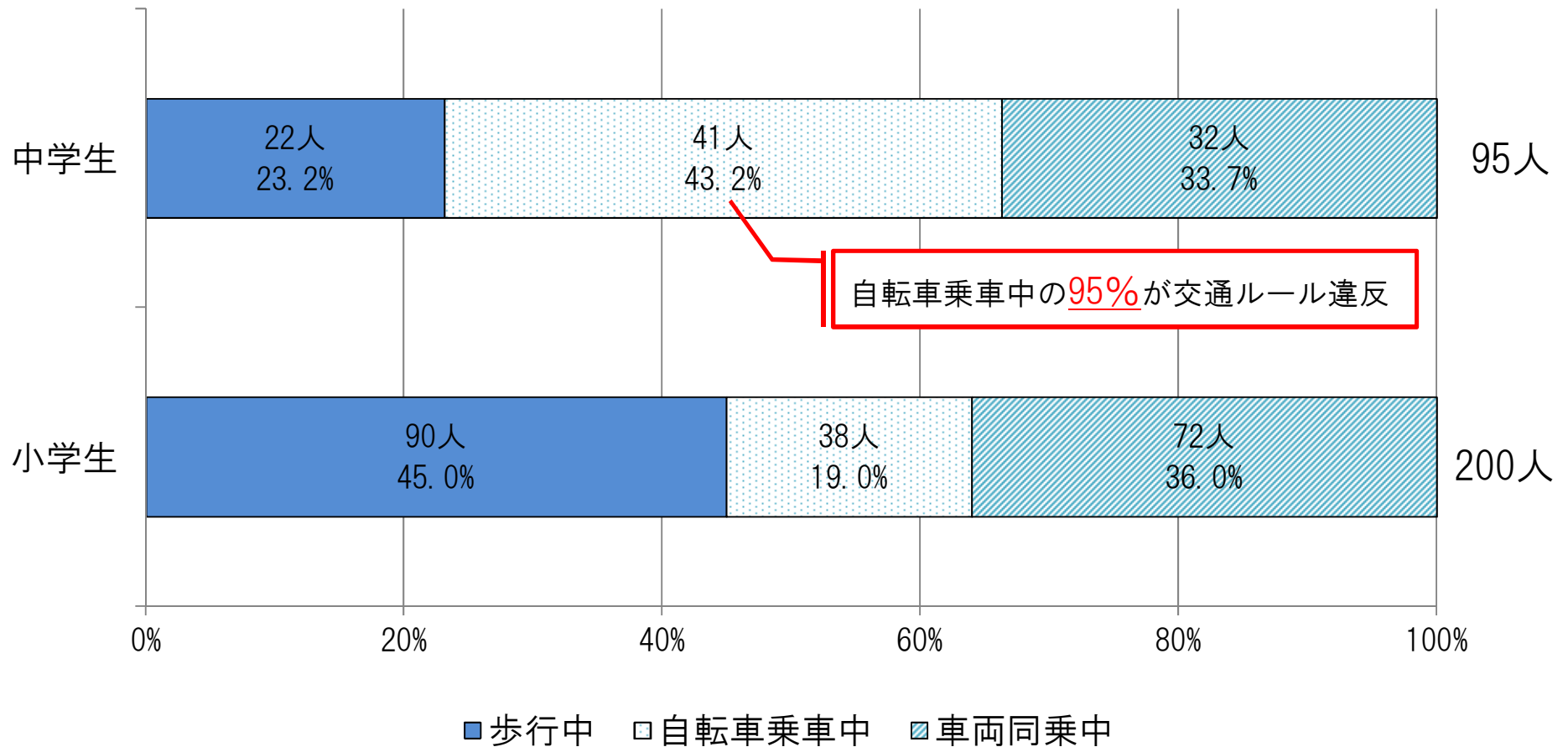
交通事故死傷者は夜間が4割以上を占め、うち高齢者の割合が多く、その大部分が夜光反射材を着用せずに事故に遭っている



【出典】鹿児島県警察本部(交通企画課)調べ 【データ】市、両性、全年齢、2013年～2015年合計

12 学齢別・交通事故状態別の交通事故死傷者の状況

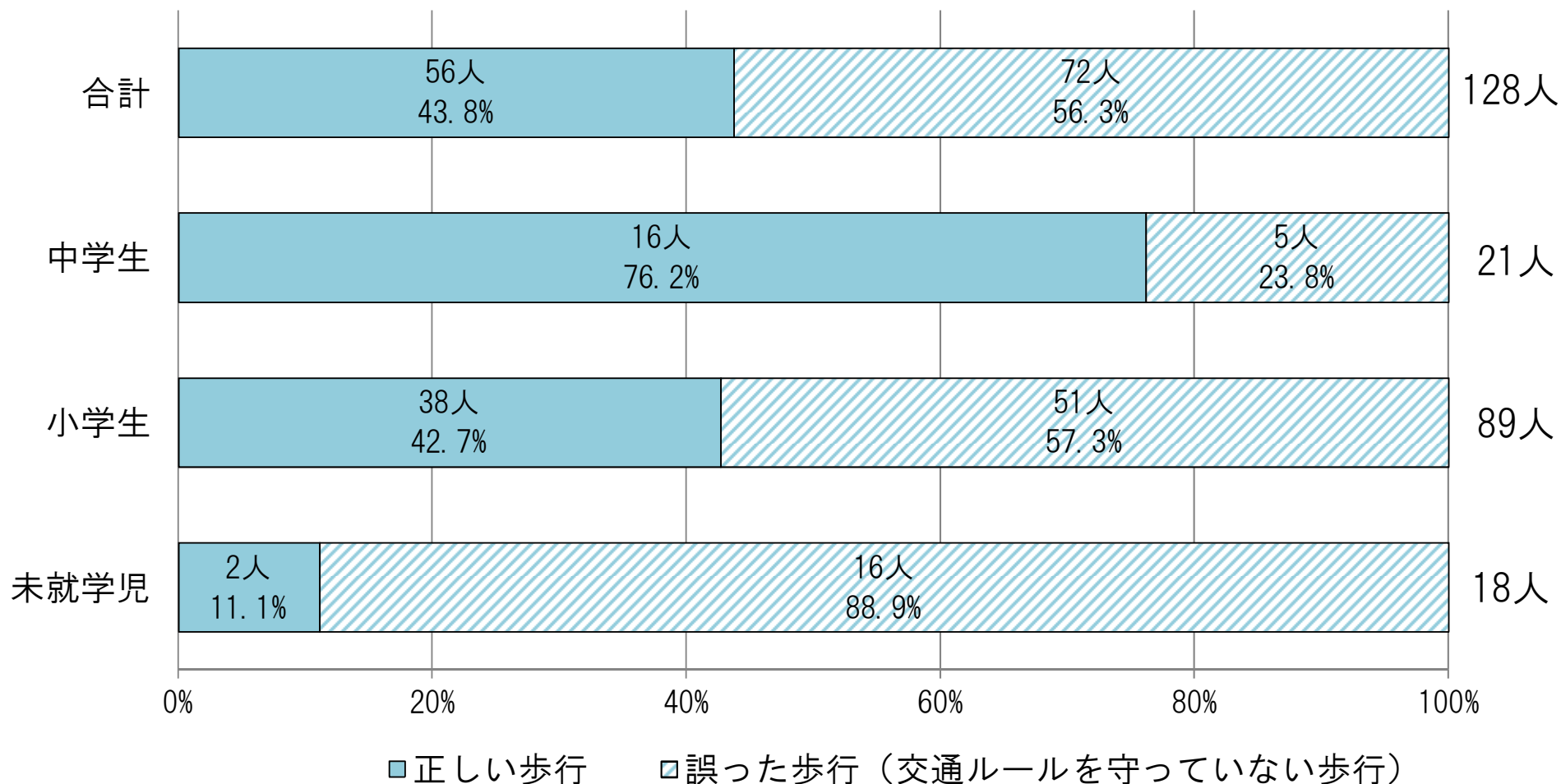
中学生は「自転車運転中」に、小学生は「歩行中」に死傷するケースが多くなっている



【出典】鹿児島県警察本部(交通企画課)調べ 【データ】市、両性、小・中学生、2013年～2015年合計

13 学齢別における歩行中の交通事故死傷者の状況

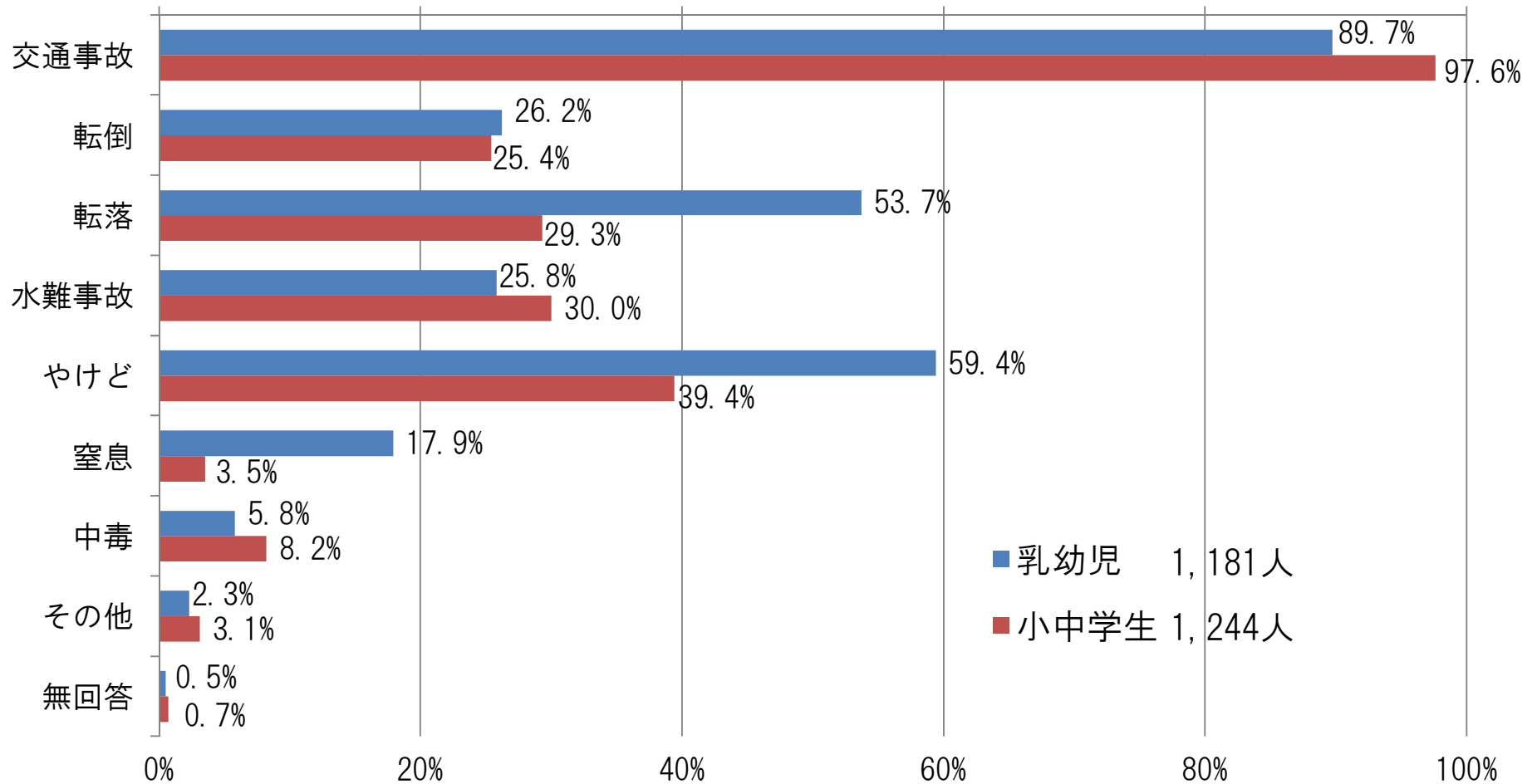
子どもは交通ルールを守らずに交通事故に遭い、死傷するケースが多く、年齢が下降するほど、その割合は顕著である



【出典】鹿児島県警察本部(交通企画課)調べ 【データ】市、両性、中学生以下、2013年～2015年合計 ※第1、2当事者のみ

14 子どもの保護者が懸念する事故の種類

保護者の多くは、子どもの「交通事故」を懸念している



【出典】事故やけがに関するアンケート調査 【データ】市、両性、乳幼児・小中学生の保護者、2012年度